

2025年フクシマ連帯キャラバン報告書

沖縄地方本部青年女性部書記次長

川崎 剛志

3月12日から15日まで2025年フクシマ連帯キャラバンに今回初めて参加してきました。2011年3月に起きた東日本大震災から14年目の現状を学べる貴重な3泊4日でした。参加するまでは、正直、被災地の町並みが7割程は復旧されていると思っていました。でも現実は違って落ちて込みました。

初日は宿泊先のグランパークホテルで結団式・日程確認をして全国各支部の仲間達と顔合わせと自己紹介をしました。夜は近くの居酒屋にて懇親会があり食事とお話を楽しみました。

その後、東日本大震災津波伝承館を見学・慰霊碑にて仲間達と黙祷・請戸小学校の見学・被災地のお家を見学・福島駅前で街宣・署名・アンケート活動なども含め沢山の経験をしました。

なぜ原発事故が起きたのか、被災地の現状を知り被災者の声を直接聞いて自分自身、悲しい気持ちになりました。残酷であり「なぜ原子力発電のある福島？」ってなりました。この気持ちを忘れる事は絶対にダメだと思います。国の洗脳を受け続けていても原発賛成派にはなりません。今回、同じ気持ちの総勢50人程の仲間達がいって嬉しいです。もっと増やしていきたいです。今後は経験したことを沖縄で広めて自分にできる事をやっていこうと思っています。2025年フクシマ連帯キャラバン参加して良かったです。ありがとうございました。